



平成 25 年 7 月 5 日

各 位

会社名 イワキ株式会社
代表者名 代表取締役社長 岩城 修
(コード番号 8095 東証第一部)
問合せ先 取締役経理部長 熱海正昭
(TEL. 03-3279-0481)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 25 年 1 月 11 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成 25 年 11 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正 (平成 24 年 12 月 1 日～平成 25 年 5 月 31 日)
(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	26,100	330	370	230	6 円 81 銭
今回修正予想 (B)	25,673	479	558	343	10 円 15 銭
増減額 (B-A)	△426	149	188	113	—
増減率 (%)	△1.6	45.3	50.9	49.1	—
(ご参考) 前期実績 (平成 24 年 11 月期第 2 四半期)	25,753	631	685	345	10 円 24 銭

修正の理由

○第 2 四半期連結累計期間

連結売上高につきましては、医薬品事業では、後発医薬品使用促進策によるジェネリック医薬品の需要が引き続き好調で、主力の外皮用剤を中心に大幅に伸長いたしました。また、医薬品原料・化粧品原料事業では、ジェネリック医薬品原料の需要拡大から抗不整脈用剤原料や抗アレルギー剤原料などが伸長いたしました。

しかしながら、化成品事業は引き続き厳しい状況であり、表面処理薬品のプリント配線板・電子部品関連薬品が低調に推移し、全体として前回予想を若干下回る見込みであります。

一方、利益面につきましては、急激な円安による輸入原料価格の高騰など、マイナス要因に対処すべく、生産性向上によるコスト削減や、販売費及び一般管理費における経費削減を進めた結果、営業利益、経常利益、当期純利益いずれも前回予想を上回る見込みとなりました。

○通期

通期の連結業績予想につきましては、引き続き円安傾向による輸入原料価格の高騰など、業績への影響についても不透明な部分が多いことから、当初の業績予想を変更しないものといたします。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上